

春 風 献 上

宮崎県防衛協会青年部会宮崎支部会員に於かれましては、心新たに清々しい初春をお迎えの事と、大慶至極に存じ上げます。

正月早々私事で誠に恐縮ですが先月一日に次女が嫁ぎ、三人の子供達は各々良き伴侶に巡り会い、私共夫婦は親としての責任の一端を果たした思いです。

その際祝電等で宴席に花を添えて頂いたり、或いはご臨席を賜りました支部会員の皆様にはこの場をお借りしまして、改めて厚くお礼申し上げます。

さて十二月は自衛隊関連行事の予定が無く、のんびり過ごせると思っていた矢先、二十日に「フィリピン国際緊急援助統合任務部隊」の出迎行事を呉港に於いて実施するので、留守家族は前日迄に集合せよとのお声が掛かりました。

以前に新田原基地からのクエート空輸支援や、都城四十三連隊のイラク復興支援等の歡送迎行事等に参加したことはありましたが、今回は倅の凱旋帰国？ですから、親とすればその労をねぎらうつもりで呉まで出向いた次第です。

早朝のEバスは大変風が強く、又折悪しく大陸からの寒気団が中国地方を来襲した上に電まで降ると云う、宮崎では想像つかぬ悪天候の中、旗艦「いせ」は軍艦マーチのメロディに合わせ、その巨体を静かに浮棧橋に接岸させました。舷側に整列する陸海空自衛官の顔が識別出来る程の距離になると、皆無事故にて「任務達成」の、自信と誇りの笑顔に満ち溢れていたような気がします。

倅とは僅か十五分程度の立ち話でしたが、一ヶ月間の洋上生活の割には余り太っておらず、逆に若干細くなったような気がしたもので理由を尋ねたところ、「全く酒を飲まず『いせ』の飛行甲板を連日走ったから、海上艦艇の飯は大変旨かったが体重は変化なし」とのことでした。(驚！)

肝機能障害や糖尿病予備軍の会員諸兄は一月位護衛艦に乗せてもらえれば、多分全て正常値に戻り、「脱メタボ」の健康体になること請け合いです。(笑)

ところで十七日政府は、国家安全保障会議の中で我が国初の「国家安全保障戦略」を策定し、平成二十六年から約十年間の新たな「防衛計画大綱」と、当初五年間の主要事業と経費を示す「中期防衛力整備計画」を決定しました。

その新大綱に依れば三自衛隊の「統合機動防衛力」を構築し、海洋進出を図る中国や核ミサイル開発を進める北朝鮮の脅威を念頭に、南西防衛の強化などがかなり鮮明となり、中央即応集団の廃止等、基幹部隊の見直しも行うようです。

「陸上総隊」を新編し、島嶼防衛の上陸、奪還、確保を担う「水陸機動団」や、与那国は陸自の沿岸監視部隊、南西諸島には初動を担任する警備部隊を隷下に、オスプレイ十七機、イージス艦二隻、F35二十八機等も要求致しました。

詳細は同封の資料をご一読賜れば幸いです。今年も何卒宜しくお願ひします。

平成二十六年一月一日

宮崎県防衛協会

青年部会

宮崎支部長

小倉和彦

